

生徒一人ひとりが輝ける学校へ

秦野曾屋高等学校のホームページをご覧くださいありがとうございます。校長の山口です。

本校は、昭和62年に開校し、今年4月に38期生を迎え入れました。



これまで自立、自律できる人材の育成を目指し、地域の力を活かした効果的な学習の仕組みを構築し、生徒の確かな学力の育成に取り組んでまいりました。特に英語教育や福祉教育に力を入れ、英検の校内受験や地域の方々に講師となっていたいただいた福祉実習を行うなど様々な学びを実施してまいりました。

グランドデザインにもあるように「君が伸びる 君を伸ばす」をキャッチフレーズに、自ら考え、自ら学び、自ら行動し、主体的・創造的に生きていくことができる「賢い生徒」、人権を尊重し、豊かな感性と規範意識をそなえ、人と社会に貢献できる「心豊かな生徒」、個性を活かし、将来の夢に向かって粘り強くチャレンジし続ける「たくましい生徒」を育成すべき3つの生徒像として、ご家庭・地域の皆さんと連携しながら教育活動を進めています。

特に地域の方々の力をお借りして、放課後に生徒が自ら主体的に学びを深めている「曾屋塾」は、10年を超える歴史をもち、今年度も6講座を開講する予定です。

新型コロナウイルス感染症が昨年5月に5類感染症に移行されたこととともない、県立高等学校の教育活動等については、引き続き効果的な換気の徹底等の基本的な感染防止対策を講じながら通常の実施活動を実施してまいります。部活動やボランティア活動、体育祭や秋輝祭（文化祭）などの場面で、生徒が一層いきいきと活躍できるようにと思っております。

さらに今年度は、県から「授業力向上推進重点校」の指定を受けた3年目として、生徒1人1台端末などを利活用しながら、個別最適な学びと協働的な学びによる主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を進めてまいります。

これらの取組みにより、生徒一人ひとりが安心・安全で充実した高校生活を送りながら、希望する進路を実現できるように、職員一同でサポートしてまいります。

令和6年4月 校長 山口 正樹